

植田 辰哉

うえだ たつや

【出身】 香川県
【生年月日】 1964年7月25日
【出身校】 大阪商業大学
【座右の銘】 騎兵必敗

現在、日本バレーボール協会男子強化委員会委員・発掘育成委員会副委員長。大阪商業大学教授。かがわ市ふるさと大使。

経 歴

【プロフィール】

大学卒業後、新日本製鐵(現:堺ブレイザーズ)に入社。日本リーグ(現:Vリーグ)ではセンタープレイヤーのとして、新人賞、ベスト6(5年連続)、ブロック賞、スパイク賞、などの数々のタイトルを獲得。日本代表としても活躍し、1992年のバルセロナオリンピックには主将として出場。6位入賞に大きく貢献した。現役引退後は、新日鐵、日本代表ジュニアチームの監督を歴任し、2005年に日本代表監督に就任。オリンピック出場を果たすため、非常に厳しい指導を続け、低迷を続けていた日本代表をフィジカル面、メンタル面ともに鍛え上げ、戦う集団へと変えていった。2008年、北京オリンピック世界最終予選を見事に突破。自身が出場したバルセロナ以来、16年ぶりに日本代表のオリンピック出場を勝ち取った。熱血指導の一方では、目標を達成するための緻密な計画も立てるなど、卓越した組織マネジメント力を持ち、企業からの講演依頼も多数。

【主な競技歴】

1989年 アジア選手権大会準優勝
ワールドカップ6位
1991年 アジア選手権大会優勝
ワールドカップ4位
1992年 バルセロナオリンピック6位

【受賞歴】

日本リーグ新人賞 1987年
日本リーグベスト6 1988年～1992年
※5年連続受賞
日本リーグブロック賞 1990年・1993年
日本リーグスパイク賞 1991年・1992年・1994年

【監督歴】

1999年～2002年 新日鐵(現:堺ブレイザーズ)
2003年～2004年 ジュニア男子日本代表
2005年～2013年 全日本男子代表
※2004年に暫定監督就任

【全日本監督での主な戦績】

2005年 アジア選手権優勝
2006年 世界選手権ベスト8
2007年 アジア選手権準優勝、ワールドカップ9位
2008年 北京オリンピック世界最終予選 兼
アジア大陸予選2位(出場権獲得)
北京オリンピック ※16年ぶりのオリンピック出場
2009年 世界選手権アジア予選1位
アジア選手権優勝
ワールドグランドチャンピオンシップカップ3位
※全日本男子の国際大会では32年ぶりのメダル
2010年 アジア競技大会優勝
※16年ぶりの金メダル獲得

【指導者資格】

JOC専任コーチ・日本体育協会上級コーチ

【著書】

「徹底マネジメント」
(2009年11月/総合法令出版)

MAX
キャスティング

株式会社 日テレイベンツ

〒105-0021 東京都港区東新橋2-5-14 新橋山根ビル6F

Tel:03-5962-8441 Fax:03-6450-1947



max-cas@ntve.co.jp